

## 妙善寺の鐘楼門

鐘楼門は、妙善寺の正門です。1801年に建てられたこの門は、その2階建て構造と、高い茅葺屋根が特徴的です。同様に茅葺屋根を特徴とするこの寺の現在の本堂は、地元の職人が考案したこのデザインからヒントを得て、この門の完成から26年後に建設されました。鐘楼門の元の梵鐘は、第二次世界大戦中に軍用として徴用され、終戦後に鑄造された代わりの梵鐘が山門に吊るされ、式典や大晦日などの行事の際に鳴らされています。門の左側には、1827年に本堂の完成を記念して植樹され、岐阜県の天然記念物に指定されたイチイの木（学名：Taxus cuspidata）があり、右側には、桜の木があり、そのピンクの花が白川郷の春の訪れを知らせます。